

あまみ す めずら どうぶつ 奄美に住んでいる珍しい動物たち



アマミノクロウサギ

せいそくち あまみおおしま とくのしま
(生息地：奄美大島・徳之島)
とくべつてんねんきねんぶつ
特別天然記念物 ウサギ科

ウサギの中では原始的な姿をしているので、
【生きた化石】とよばれています。耳はノウサギ
にくらべるとすいぶん短いのが特徴で、手足
は短く、がっしりとしています。



アマミイシカワガエル

せいそくち あまみおおしま
(生息地：奄美大島)
けんしててんねんきねんぶつ
県指定天然記念物 アカガエル科

【日本で一番きれいなカエル】と言われていま
す。屋間は木や地面にできた穴の中などですご
し、夜になると活動し、虫などを食べて生活し
ています。



ルリカケス

せいそくち あまみおおしま かけろまじま うけしま
(生息地：奄美大島・加計呂麻島・請島)
くにしててんねんきねんぶつ
国指定天然記念物 カラス科

鹿児島県の県鳥(県を代表する鳥)になっ
ています。頭から胸にかけて羽が紫がかった深い
青色(瑠璃色)なので、【ルリカケス】という
名前がつけました。



オットンガエル

せいそくち あまみおおしま かけろまじま
(生息地：奄美大島・加計呂麻島)
けんしててんねんきねんぶつ
県指定天然記念物 アカガエル科

茶色のすんぐりとした大きなカエルで、背中な
どにイボのようなものがあります。メスは流れの
ゆるやかな川や池の浅い場所などに丸いくぼみ
を作って卵を産みます。



オーストンオオアカゲラ

せいそくち あまみおおしま
(生息地：奄美大島)
くにしててんねんきねんぶつ
国指定天然記念物 キツツキ科

主に照葉樹林で暮らし、頭はオスが赤く、メス
は黒色です。4月から5月ごろ、木に大きな穴
を掘って子育てをします。この時期にはさか
んにクチバシで木をつついて音をたてています。



イボイモリ

せいそくち あまみおおしま うけしま とくのしま
(生息地：奄美大島・請島・徳之島など)
けんしててんねんきねんぶつ
県指定天然記念物 イモリ科

全身が黒褐色で、おなかも黒色ですが、しっぽ
の下と手足の先はオレンジ色です。肋骨の先が
背中の横に張りだして、原始的な姿のまま
になっています。



オオトラツグミ

せいそくち あまみおおしま
(生息地：奄美大島)
くにしててんねんきねんぶつ
国指定天然記念物 ツグミ科

奄美大島の照葉樹林で暮らし大きなツグミの
仲間、とても少ない数しか残っていません。
オスとメスの出会いの季節(3月から4月)には、
明け方に美しい声でさえずります。



アマミトゲネズミ

せいそくち あまみおおしま
(生息地：奄美大島)
くにしててんねんきねんぶつ
国指定天然記念物 ネズミ科

2センチメートルほどの針のような毛を全身にも
ち、森で生活するネズミです。夜行性で木の
実や虫などを食べています。ハブなどの敵が近
づく、ジャンプして逃げます。



リュウキュウアユ

せいそくち あまみおおしま
(生息地：奄美大島)
ぜつめつじきく
絶滅危惧ⅠA類 キュウリウオ科

本土のアユにくらべて小さく、おなかの銀白色
と胸びれ近くの黄色いたてじまが鮮やかです。
奄美大島中部の川で暮らしています。



コクトゥン

あまみ せかい
奄美には、世界でもここにしかない動物がたくさん住んでいます。このごろは、
こうつうじこ ひと す どうぶつ た べら たり して 数 が 減 っ て し ま い ま し た 。 ペ ッ ト
交通事故にあたり、人が捨てた動物に食べられたりして数が減ってしまいました。ペット
ただ か どうぶつ まも たいせつ
を正しく飼い、これらの動物を守ることが大切です。

せかい しぜん いさん とうろく
世界自然遺産登録をめざして